



LNG 産消会議 2021 に寄せて

<ビデオメッセージ>

テック・ムハマド・タウフィック

ペトロナス社長兼グループ CEO

エネルギー転換における **LNG** の役割増大

梶山 弘志 経済産業大臣、ご来臨の皆様、ご参加されている皆様、こんにちは。
私の名前はタウフィックです。どうぞよろしく申し上げます。

この度、10 回目の開催を記念する LNG 産消会議 2021 にてお話しさせていただくことを、この上なく嬉しく、光栄に思っております。ペトロナスを代表いたしまして、経済産業省様に、この非常に重要なマイルストーンを迎えられましたことに対し、御礼と御祝いを申し上げます。LNG 産消会議が 10 回目を迎えたことは、この会議が、低炭素化された未来への道を議論し、形作るための傑出した効果的なプラットフォームとして、産业内のプレーヤーにより認識されていることを現しています。これを鑑み、「エネルギー転換における LNG の役割増大」というテーマは本日私たちが直面する現実と LNG の持続可能な未来という目標を考えるにあたり、非常に時勢にあったものであると存じます。

パンデミックが始まり、1 年半が過ぎました。COVID-19 によってもたらされた困難は、全世界の人々、ビジネス、貿易、経済にとって、痛みを伴うものです。これらの困難は、未だに甚大で誇張の余地はありません。世界各地でのワクチン接種が現在のペースで進むことについては、希望を抱いております。しかしながら、より毒性と伝染力の強い COVID-19 の変異株の急な発現により、展望は未だに不透明であることも、受け入れなくてはなりません。2021 年の前半は、楽観的な動きを目にいたしました。多くの国がロックダウンを急速に緩和し、これにより、経済活動は大幅に増え、石油価格は改善しました。

LNG 価格は、夏の猛暑と冬の寒波の影響を受け、8 年で 1 番の高値に達しました。予測しがたい異常気象の結果として、大きな価格変動は続くでしょう。この状況により多くの人たちが 2021 年に需要が大きく回復することを予想しています。IEA（国際エネルギー機関）によると、ガス需要の増加はほぼ COVID-19 危機からの回復を反映しているものです。2024 年には COVID-19 感染拡大前である 2019 年のレベルと比べ、7%増えることが予測されています。成長は、経済活動の増加により拡大し、ガス需要に拍車をかけることでしょう。ガスは発電、電気工業、電力輸送において石炭、石油の代替となるものだからです。

重要なことは、2020 年から 2024 年の需要の拡大のほぼ半分が、まさにここ、アジア太平洋地域からもたらされるものということです。IEA の持続可能な開発シナリオによりますと、ガスは 2040 年までに、第一次エネルギーミックスの四分の一までに達する見込みです。ガスの上昇傾向は、特にアジア太平洋地域の新興国により拡大した需要からもたらされる歓迎すべき成長に支えられ、続くことでしょう。COVID-19 の経済への影響を考察いたしますと、アジア太平洋地域は、それでもなおレジリエントであると考えられます。2040 年においても、エネルギー需要成長の中心であることが予想されます。成長は、都市化、産業化、中間層の成長により、もたらされるでしょう。ガスと LNG は経済活性化と二酸化炭素排出削減目標サポートにお

いて、決定的な役割を果たし続け、産業は加速するエネルギー転換とスピードを競うようになるでしょう。私たちは今、気候変動の抑制のため、エネルギーに起因する二酸化炭素排出削減という喫緊かつ避けることのできない必要性に直面をしています。

気候科学はこの緊急性を強く裏付けており、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の最新のレポートにおいても強調されています。このレポートによると、今後の 20 年において、気温は産業革命以前と比べると、1.5 度上昇する見込みです。これは 2015 年の気候に関するパリ協定での目標に明確に反しています。そのため、産業界として、我々には 2 つの重要な任務があります。1 つ目はパンデミックからの回復とともに、拡大するエネルギーの需要に応えることです。2 つ目は、取得可能性、安全性、持続可能性というエネルギーの 3 つの並び立つ課題に取り組むことです。このようにして、LNG は、エネルギー転換の源として、重要な役割を担うこととなります。

本会議にご参加の皆様には、ガス及び LNG が化石燃料において、最もレジリエントであることについてはご同意をいただけると信じております。エネルギー転換がもたらす課題に、実行可能な産業界からの解決策となるものです。私たちはガスと LNG は、エネルギーミックスにおいて、再生可能エネルギーを補足するために、重要かつ経済的競争力があり、低炭素化を望める選択肢であると思っております。ガスと LNG は東南アジアの新興国に、石炭への依存を削減するための、決定的な手段を提供しています。2040 年には、石炭火力発電は、エネルギー需要に応えるため、3 億トンもの二酸化炭素の原因となることが予想されています。発電をガス、LNG に切り替えることで、排出量を半分に抑えることができます。これは予測ベースのオフセットで、750 億本の植樹と同様の効果があります。更に、LNG は削減困難なセクターでの排出削減において、様々な用途に使用することができます。陸上輸送においては、LNG は高炭素のディーゼル燃料の代替を提供できます。海上輸送においては、IMO2020 で定められた規制を守る上で、よりクリーンなエネルギー源です。LNG は発電所、石油化学プラントでの排出を抑制することもできます。

ガス、LNG のエネルギー転換におけるポテンシャルは希望に満ちたものです。しかしながら、それを当然のことと見なさないよう、注意が必要です。多くの皆様のご既承の通り、世界規模のパンデミックの中、数々の先見性のある政府により、今世紀半ばまでのネットゼロ二酸化炭素排出に新たなコミットメントが出されてきました。コミットメントを出した国、団体には日本、中国、韓国そして EU が含まれています。コミットメントが政策、規制に反映された暁には、産業界は、変容する企業環境に対応をしていかななくてはなりません。現代の資本家は、企業により一層の環境への配慮を求めています。企業は、宣誓や開示によってだけでなく、行動や結果によって判断をされるようになります。これにより、私たちはどのように企業活動を行っていくかを見積ることを余儀なくされるのです。これらの要素が指し示すことは、産業界

にとって、気候変動に対応するための転換戦略を持つことは、必要なだけでなく、私たち全員が生き抜くために絶対的に不可欠であるということです。

加速するエネルギー転換を背景とした、パンデミックにおけるファンダメンタルシフトは変化への決定的な原動力です。今、生産者、消費者そしてまさに政府の間には、過去のどの時よりも強い協働関係が存在しています。この機会に、私たちのより長期的な目標達成を可能にする3つの重要な手段を、クローズアップして見ていきたいと思えます。これらの手段は、全てのステークホルダーの努力によってのみ、完全に成功させることができます。

1つ目の手段は、クリーンなエネルギー資源の開発における地域間の協働関係を強めることです。これにより、特に独自の課題を持った新生の市場から新しい需要を創造することができます。これらの課題は、柔軟なオペレーション、インフラの整備、政策の補助等です。産業界のプレーヤーとステークホルダーの協働関係により、目的に準じたソリューションの開発を行うことができます。この調和は、LNGを入手、利用可能にするための責任が共有されている状態を反映しています。

2つ目の手段が、政府による助力、介入であることは間違いありません。この手段は、産業界の中では、新しいものではありませんが、公共部門、民間企業の協働関係のダイナミクスは大きな発達を遂げました。政府は公正なエコシステムを創成することで、クリーンなエネルギーをより魅力的なものにすることができます。政策介入、企業にとって友好的な規制環境、構造化されたガバナンス、法的なフレームワークは、産業界のプレーヤーに安定を提供するでしょう。それと引き換えに、政府はエネルギー転換の目標達成のために必要な助けを得ることができます。

3つ目そして最後の手段は、クリーンなエネルギープロジェクトに対する資金をより大幅に利用可能にすることです。再生可能エネルギーへの即時かつ全体的な転換は理想的な解決策に見えますが、既存のLNGインフラを最初に活用する方が、遥かに実行可能かつコスト効率の良い方策であると思えます。これによりオペレーションではなく、排出削減のほうにより強いフォーカスを置くことができます。金融機関はインセンティブの提供に理解を示し、役割を担う必要があるでしょう。この結果、特に温室効果ガス排出削減テクノロジーの分野において、テクノロジー発達のスピードを加速させることができます。

ここで、日本政府の脱炭素化と持続可能なエネルギー政策への力強いコミットメントに、称賛の意を表明申し上げます。日本はアジアでの実行可能なエネルギー転換における共通のビジョンを推奨する、模範的な国であり続けています。経済産業省様のアジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ (AETI)、グリーンイノベーション事業には、特段の敬意を表しま

す。これらの取り組みはアジアにおける持続可能な経済成長、カーボンニュートラル両方の達成への道を拓くことでしょう。

皆様、LNG は、エネルギー転換において、非常に重要であり続けます。長期にわたる LNG のプレーヤーとして、ペトロナスは、ガスと LNG を低炭素化された未来のための手段とするため、潤沢な資金を持っており、推奨し続けて参ります。現在、ペトロナスが世界中の成長を続けるお客様の元に安全に届けた LNG カーゴ数は、12,000 隻の記念に到達しようとしております。この記録は事業開始以来、損なわれたことはございません。

約 70%のガスのポトフォリオという利点を活用し、ペトロナスはオペレーションにおける柔軟性の向上を続けます。私たちはガスと LNG の傑出した革新的なソリューションを提供いたします。ソリューションの例を申し上げます。

- ISO タンクコンテナと仮想パイプラインシステムを用いた、小規模、オフグリッドのお客様へ LNG を提供する LNG リーテイリング
- 海上輸送のための LNG バンカリング
- マレーシア、ビンツルのペトロナス LNG コンプレックスから四国電力様に向け、最初のカーボンニュートラル LNG カーゴ持ち届けの成功

私たちは、排出量、カーボンフットプリントの削減と廃棄物処理改善を可能にするテクノロジーへの進出にも重点的に取り組んでいます。同時に、オペレーションの質の向上も続けています。取り組みの例を申し上げます。

- ペトロナス LNG コンプレックスへの給電 私たちのコンプレックスは、単一の場所で稼働する LNG コンプレックスでは世界最大規模のものであり、90MW の電力を再生可能エネルギーで賄っています。
- サラワク州のオフショアガス田でのフレアガスリカバリー、二酸化炭素回収・貯蓄を開発中
- 排出量削減のため、日本のお客様と共に石炭火力発電所でのアンモニアの混焼

これらの取り組みはペトロナス単一ではなしえないことを、改めて申し上げます。適した戦略パートナーを見つけ、協働することは、事業の成長には常に欠かせない要素でした。それは今、私たちが自分たちの目標達成を追求する中、より一層明白になっています。私たちの目的とは、持続可能な未来に向けた、より豊かな生活を生み出すための革新的なエネルギーとソリューションのパートナーになるということです。

私たちは日本のお客様と、水素、アンモニア、CCS 及び CCUS、オフショア風力発電、持続可能な航空燃料、LNG バンカリングアライアンスというソリューションの開発に向け、協働しております。統一されたバリューチェーンの中での強みが明らかになっている中、ペトロナスは再生可能エネルギーにおけるパートナーシップも追及しています。さらに、グリーン水素の商業生産も視野に入れていきます。

産業界はパンデミックの不確実性の中を進み、エネルギー転換の課題に取り組まなくてはなりません。全てのステークホルダーから重点的かつ集中した努力が必要とされます。これにより、低炭素化の未来というゴールに向け、大きな変化をもたらすことができるのです。2050 年までのネットゼロ二酸化炭素排出という目標を定め、ペトロナスは、エネルギー転換における LNG の役割を増大させることに全力でコミットいたします。LNG を入手可能なだけでなく、安全、そして更に重要なこととして、持続可能なエネルギー源として位置づけます。

経済産業省様におかれましては、本イベントを開催いただいたことを、重ねて御礼申し上げます。

LNG 産消会議 2021 のご盛会を心から祈っております。

皆様、お気をつけて、安全にお過ごしください。ありがとうございます。